

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 本研究科学生用の共用研究室を整備する	→2010年3月までに設置	D	C	C		
2. 本研究科学生のための研究支援、海外調査支援、研究成果公表支援の妥当性について、定期的に見直しを行う	→見直しのための教授会を1年に1回開催する	C	B	B		
3. 本研究科教員・学生の研究倫理のコンプライアンスについて、定期的に見直しを行う	→研究推進社会連携機構への研究倫理に関する相談件数/研究倫理で研究科として判断に苦慮する案件数	C	C	C		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	博士課程学生用の研究用スペースの確保を大学当局に継続的に求めているものの、実現されていない。研究用の個人スペースがないことは問題であり、特に梅田キャンパスでの研究環境の改善は急務である。
目標2	学生の研究支援については、研究報告を行う場合の学会への旅費補助、海外調査等を行う場合への旅費補助、コピー費補助、研究科発行起用への投稿権付与、大学図書館購入図書選定にあたっての希望聴取、アンケート調査などへの支援等を行ってきた。さらに、思念内容について充実させていく。
目標3	本研究科教員・学生の研究倫理のコンプライアンスについて現状では問題は出ていないが、定期的に見直しをしていく必要がある。
備考	